

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

帰水ウバーレ

ひと山丸ごと石灰岩

秋吉台の石灰岩が最もよく見えるのは、山焼きが終わってから新緑が伸びてしまうまでです。
帰水ウバーレも今は白い石灰岩がたくさん見えますが、しだいに草に隠れてしまいます。

いつだったか、ここへ訪れていた人から「石灰岩はどこにあるのですか」と聞かれたことがありました。たしかに、夏以降は緑の台地ですが、この時期は黒い台地に細い遊歩道がよく分かります。どこへ通じているのやら、春の陽気に誘われながら、この時期ならではの景色などを散策に出かけてはいかがでしょうかでしょう。



ホトケノザとヒメオドリコソウ

よく似た地味な花ですが…

この時期、いたるところに繁殖しているホトケノザとヒメオドリコソウ。雑草として持て余されている代表格ではないでしょうか。ホトケノザといっても、春の七草のホトケノザとは違う種類です。

二つともよく似ているようですが、並べて見ると違いがよくわかります。これほどはびこるので、何か利用できればよいのですが、思いつきません。

昨年からはヒメオドリコソウの白花が咲くようになりました。ホトケノザにも白花があるそうですが、まだ出会ってはいません。



黒い土の中からベニヤマタケが顔を出していました。

地元ではアカナバと呼ばれていて、混ぜご飯などに使われていたそうです。鮮やかな赤色がとてもきれいで印象的ですが、陽にあたると色褪せしやすいのが残念です。

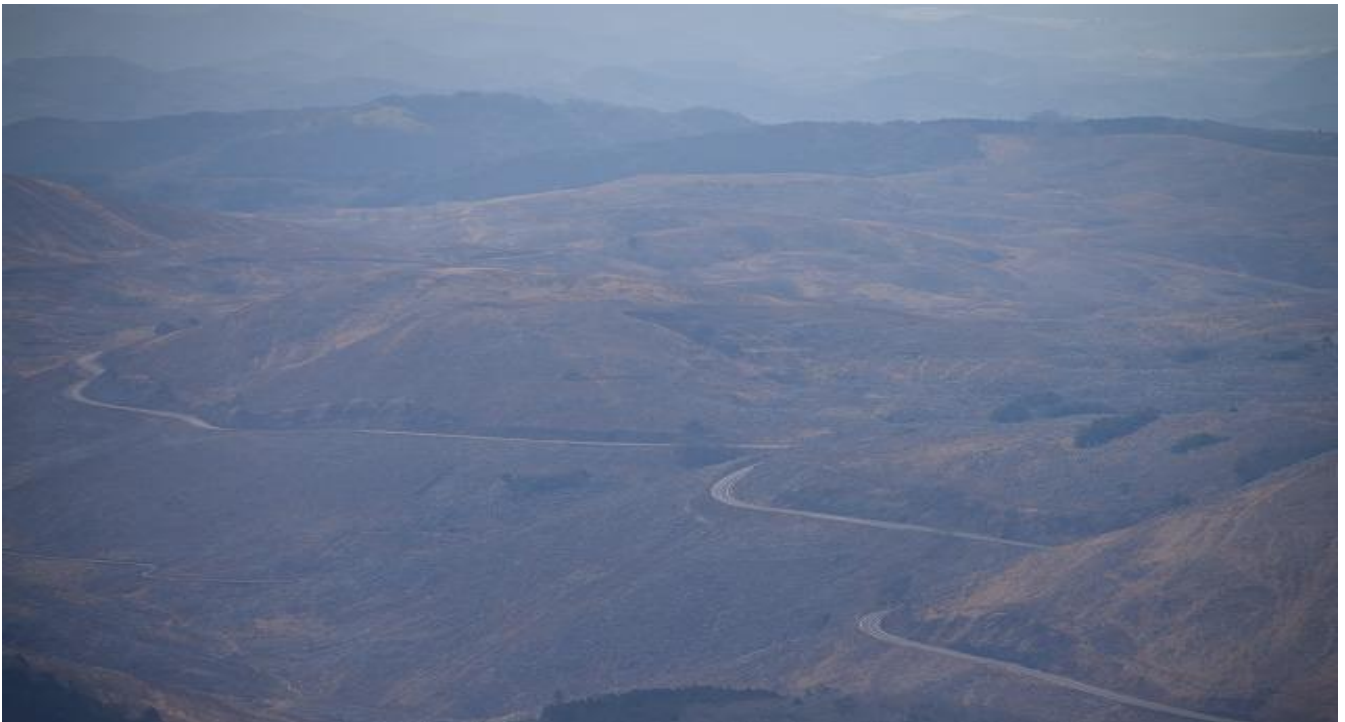
今年は、かさの大きさが500円硬貨よりも大きいものが、数か所でたくさん見つかりました。重なり合ったネザサの落ち葉を持ち上げているようです。それをそっと取り除いて写真を撮った後は、できるだけいつまでも色褪せしないように、またそっと落ち葉をかぶせます。



桂木山登頂記

…桂木山登りて遙か見渡せば遠い昔の思ひ出見ゆる…

赤郷小学校の閉校に伴う行事の一環で「いっしょに桂木山にのぼりませんか」に参加しました。3月15日当日は、午後から天候が悪くなり降水の予報だったので、出発を1時間繰り上げての実施となりました。駐車場所を出ると早速登山開始です。最初は沢伝い、尾根に出るとそこからは尾根伝い。鉄塔近くで小休止。その後は一気に頂上まで。しばらくすると「着いた」と子どもたちの歓声が上がりました。経路はいずれも急斜面で、滑りながらでしたが、登頂したときの喜びは格別でした。頂上は幾分開けており、眼下に青景地区、その向こうに秋吉台が見えます。振り返ると、はるかに長門市仙崎の港と日本海が広がっています。早めの昼食をとり、みんなで校歌を歌い、将来の夢を大きな声で叫びました。帰路は短時間だろうと思っていましたが、往路とほぼ変わらない約1時間かかりました。全員無事に下山して、良い思い出となりました。



4月の行事

4月7日（日） 化石採集体験（大正洞桜まつり同時開催）

石灰岩からフズリナ、ウミユリなどの化石を採集しま